

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1980
Jtitle	哲學 No.71 (1980. 3) ,p.212- 212
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000071-0212

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「哲学・第71集」をお届けします。今回は編集が遅れ、かろうじて間に合いました。国際印刷の尾関氏には色々ご迷惑をかけてしまいましたが、改めて感謝する次第です。年2回の刊行もこれで三年経過することになりますが、一応つつがなく進行したことは会員各位のご協力の結果であると幹事一同喜んでおります。

* * *

今回も掲載論文は若手が中心となり、その内容も多岐にわたっております。ただそのため前回にも書きましたように掲載決定の基準が一定しておらず、今回も事実上は各専攻科にお願いする以外にはありませんでした。学術雑誌として質的に高度のもの、充実したものをめざすためには掲載論文の内容審査に関して統一的な規定は不可欠であります。大学院生の多くは「哲学」で処女論文を発表するという場合が多い訳ですから、なおざりな処女論文にならないためにも早急に策を考えねばならないと思います。

* * *

後期の三田哲学会の活動は諸般の事情から例会を開くことができませんでした。イギリスの B. B. C. 制作による Open University の哲学教材フィルムの上映がなされました。日本でも近年言われている放送大学が既にイギリスでは Open University として軌道に乗り、その教材の内容は評価が高まっています。その一部分を哲学専攻を中心に購入しましたが、それを上映したものです。英語のフィルムのため参加者の十分な理解が得られたとは必ずしも言えませんでした。目を通しての哲学という新しい形式

には大いに参考になる点があったと思われます。

* * *

又、講演会は哲学専攻の名誉教授、松本正夫先生の最終講義を兼ねた形で行われました。松本先生は教授退職後も長年にわたり「存在論」の講義を担当して下さいました。講演会は慶応での先生の学問的成果を約2時間の中に凝縮されたものでした。先生の業績は既に内外に衆知のことですが、当日の講演の中にはその学問的成果のみならず、先生の学問への姿勢、人柄等がにじみ出ていました。そのためか講演会にはありがちな騒々しさもなく、参加者一同の熱心な聴講が目につきました。講演後には盛大な拍手がございましたが、その時の先生の感慨深げな態度は参加者の胸に深く、そして長く残ることと思います。

* * *

次回の「哲学」(第72集)についての具体的日程は未定ですが、論文の体裁は従来通りです。

(和文論文の場合)

400字詰原稿用紙で本文40枚、注及び文献リスト8枚、欧文アブストラクト200語、

(欧文論文の場合)

A4タイプ用紙にダブルスペースで19枚、アブストラクト200語。

応募される方は上の規定を守って執筆して下さい。論文応募、例会テーマ等に関してお問い合わせ、ご意見がございましたら幹事にお申し出下されれば幸いです。

(西脇与作)